

運輸部

断崖の頂きに港湾施設がある孤高の島をご存じですか。

この島では、その地勢から、旅客の乗下船もクレーンによることを余儀なくされています。

大東島は、沖縄本島から、東方約 400km に位置し、人口 1,855 人、面積 43.66km² の隆起環礁の島であり「ウファガリジマ」とも呼ばれています。

産業は、サトウキビが中心であり、黒砂糖やラム酒の製造、その他大東寿司等特有の食文化でも有名なところです。

航路は、波の荒い外洋であり、那覇から片道 15 時間を要し、気象海象とも大変厳しく、在来船舶は、建造から 21 年経過しており、老朽化が著しく島民から早期の代替船の建造が望まれていました。

この島に平成 23 年 6 月 1 日に新船「だいとう」が就航しました。総トン数 690 トン、旅客定員 55 名と旧船舶と殆ど変わらないものの、全長で 10.6m、全幅で 2.4m と大型化されており、横揺れ防止のフィンスタビライザーを装備し、^{りょうはせい}凌波性（海を横断する適合性）、^{たんこうせい}湛航性（航海に耐える能力）においても優れています。



また、SOLAS で定められた最新の無線通信設備や救命設備を有しており、安全性においても拡充されています。さらに、バリアフリーに対応した客席、トイレ、車椅子用の通路幅の確保等、高齢者等にも安全で快適な



乗り心地の船舶となっております。

その他、喫煙室も別途設けられており、多様なニーズにも配慮されています。

新船「だいとう」の就航により、旅客及び生活必需品の安定輸送が拡充され、大東島の観光振興にも貢献できるものと期待されています。



SOLAS : 海上における人命の安全のための国際条約

1912 年 4 月北大西洋沖における旅客船タイタニック号の遭難事故が契機となり、船体の構造、救命通信設備、流氷の監視等種々の問題点が指摘され、船舶の安全確保のために国際的ルールの一統一及び確立の必要性が提起されました。

POINT

新船「だいとう」が平成 23 年 6 月 1 日に就航しました。

那覇（泊）〜南北大東航路に貨客船「だいとう」就航